

国際数学オリンピックの選手らが情報基盤センターを見学

大林 由尚

東京大学情報基盤センター 広報担当

7月2日から13日にかけて千葉県幕張で開催された国際数学オリンピックの選手らが7月11日、東京大学柏地区キャンパスの情報基盤センターとカブリ数物連携宇宙研究機構を訪問しました。

20年ぶりの日本での開催となった国際数学オリンピック2023では、7月8日、9日の2日間にわたる試験を終えた各国代表の選手たちは、採点、審議が行われている間、開催国の文化にも触れる様々な交流イベントに参加しました。その一環で、東京大学柏キャンパスのツアーを選んだフランス、イタリア、チェコの選手らが東京大学柏 II キャンパスの情報基盤センターと柏キャンパスのカブリ数物連携宇宙研究機構を訪問しました。

大型バスで情報基盤センターに到着した選手らは、短いガイダンスの後、3班に分かれてそれぞれ情報基盤センター スーパーコンピューティング研究部門の教員の案内でスパコン室を見学しました。スパコンの見学の後は、スパコンを使った研究についての講義や質疑応答、雑談のち、再びバスで柏キャンパスのカブリ数物連携宇宙研究機構へと移動しました。



情報基盤センターを訪れた数学オリンピック選手らの様子

関連リンク

数学オリンピックホームページの報告記事 <https://imo2023.jp/ja/news/detail.php?id=75>